

## ■廃棄物分野ワーキングチーム

検討テーマ	テーマ概要	主な意見(有識者等)	解決策(ノウハウ等)	備考
1 亜鉛メッキ汚泥について、減量化又は有価物化を図りたい。	* 現状は、自社で脱水後、中間処理業者を経由してセメント会社へ搬入しており、最終的に廃棄物処理費用の削減につなげたい。	・メッキ廃液のゼロエミ型の排水設備がある。 ・汚泥の有価物化は難しい。 ・汚泥を最終的に利用している事業者と直接取引できれば、コストダウンできる可能性がある。	◇汚泥の処理委託量の削減が効果的である。 ◇設備導入にあたっては、京都府産業廃棄物3R支援センター(以下「3Rセンター」という。)の補助事業活用が経済的である。 ◇廃棄物の有価物化にあたっては、廃棄物の該当性は総合判断(物の性状、排出の状況、通常の見取り形態、取引価値の有無及び占有者の意思等)であり、すべてクリアする必要がある。	京都府産業廃棄物3R支援センター補助事業 対象事業：産業廃棄物のリサイクル施設等を設置する事 詳細は下記をご参照ください。 京都府産業廃棄物3R支援センター <a href="http://www.kyoto-3rbiz.org/subside.html">http://www.kyoto-3rbiz.org/subside.html</a> 行政処分の指針(環境省 通知) <a href="https://www.env.go.jp/hourei/add/k040.pdf">https://www.env.go.jp/hourei/add/k040.pdf</a>
2 廃プラスチック類について、有料化又はリサイクルを図りたい。	* 絶縁用ゴム、ウレタンヘンソ(ウレタンにポリエステル糸が埋め込まれたもの)、ラミネート加工したフィルム(PVC含む、PVC含まない)について、有価物化又はリサイクルを図りたい。	・有価物化には、単体の素材であることが必要である。 ・複合素材のものは、リサイクル(原料化等)も難しい。 ・PVCを含まないものは、サーマルリサイクルが可能である。	◇ゼロエミッションアドバイザーによる事業所訪問(守秘義務厳守)、実際の廃棄物の性状や個別の事情の確認、助言を受けるのが効果的である。 ◇原材料の購入先など、その素材の専門家にアドバイスを求める方法も効果的である。	ゼロエミッションアドバイザー派遣事業 <a href="http://www.kyoto-3rbiz.org/zeroemi.html">http://www.kyoto-3rbiz.org/zeroemi.html</a>  PVC:ポリ塩化ビニル
	* 血漿バッグ(紙ラベルが貼付、PVC製とPE製があり、高圧蒸気滅菌後、感染性廃棄物扱い品として焼却処分しているもの)をリサイクルしたい。	・PE製のものは、固形燃料としてリサイクルが可能である。 ・感染性廃棄物と同じ処理方法となると、リサイクルは難しい。	◇高圧蒸気滅菌しているのであれば、廃棄物処理法上は、感染性廃棄物には該当しないので、低コストでの処理が可能である。 ◇処理業者に委託する産業廃棄物に係る情報提供を行い、適正処理することを提案する。	PE:ポリエチレン
3 特殊ガラスについて、リサイクルを行いたい。	* 廃プラスチック類(PVC含まない、PVC含む、判別不能)の有価物化又は処理費用を抑えたりリサイクルができないか。	・状態によって分別することで、リサイクルコストを抑えられる。	◇事業地内の保管場所で素材毎、状態毎に分類することを提案する。 ◇分類方法は、有価物引取事業者や産業廃棄物処理業者と十分に相談することが効果的である。 ◇事業地内で廃棄物の分別のノウハウとして、廃棄物を集めた後で分別するのは非効率であり、発生段階で分別できるような仕分けが効果的であり、社員教育に活かしてほしい。	京都府・京都市産業廃棄物中間処理業者一覧(平成27年度)(京都府産業廃棄物3R支援センター) <a href="http://www.kyoto-3rbiz.org/2015.11.13gyosya-ichiran.pdf">http://www.kyoto-3rbiz.org/2015.11.13gyosya-ichiran.pdf</a> 行政処分の指針(環境省 通知) <a href="https://www.env.go.jp/hourei/add/k040.pdf">https://www.env.go.jp/hourei/add/k040.pdf</a>
	* 検査で排除したガラス瓶(未使用)を有価物として再利用する方法はないか。	・ガラス瓶として使用するの難しいが、透明なので、ガラス素材としての利用は可能である。	◇ガラス瓶の販売業者を通じ、ガラス素材メーカーと相談することが有効である。 ◇企業間連携により、有効な情報のやりとりを期待したい。	ガラス瓶3R促進協議会 <a href="http://www.glass-3r.jp/">http://www.glass-3r.jp/</a>
4 木製の梱包材について、有価物化を図りたい。	* 木製の梱包材を有価物化したい。	・木くずは、固定価格買取制度により、木質バイオマスとして有価物化するかもしれない。	◇事業地内の保管場所で素材毎、状態毎に分類することを提案する。 ◇分類方法は、有価物引取事業者や産業廃棄物処理業者と十分に相談することが効果的である。 ◇事業地内で廃棄物の分別のノウハウとして、廃棄物を集めた後で分別するのは非効率であり、発生段階で分別できるような仕分けが効果的であり、社員教育に活かしてほしい。	京都府・京都市産業廃棄物中間処理業者一覧(平成27年度)(京都府産業廃棄物3R支援センター) <a href="http://www.kyoto-3rbiz.org/2015.11.13gyosya-ichiran.pdf">http://www.kyoto-3rbiz.org/2015.11.13gyosya-ichiran.pdf</a> 行政処分の指針(環境省 通知) <a href="https://www.env.go.jp/hourei/add/k040.pdf">https://www.env.go.jp/hourei/add/k040.pdf</a>
5 紙シュレッダーについて、リサイクルを行いたい。	* 廃紙シュレッダーをリサイクルできる施設があれば教えてほしい。	・細切りであれば、紙シュレッダーもリサイクルが可能である。	◇縦方向、縦横方法等、シュレッダー方法を検討することも効果的である。 ◇社内での機密保持とのバランスを検討することも効果的である。	京都府・京都市産業廃棄物中間処理業者一覧(平成27年度)(京都府産業廃棄物3R支援センター) <a href="http://www.kyoto-3rbiz.org/2015.11.13gyosya-ichiran.pdf">http://www.kyoto-3rbiz.org/2015.11.13gyosya-ichiran.pdf</a>
6 生おからについて、有効利用を推進したい。	* 生おからと乾燥醤油カスを混合する方法で、牛にも与えることが出来るコストパフォーマンスの大きい飼料を生産することに成功した。この方法は、地元畜産農家に使用してもらい、高評価を得ている。混合方法として、現在、手作業で行っているが、低コストで量産化できる設備について教えてほしい。	・3Rセンターの補助事業を活用していた。 ・エネルギー消費量を抑えた乾燥方法というのが特色である。 ・既にリサイクルしている廃棄物であっても、より付加価値の高い商品を開発するとか、低コストな処理方法を研究するというようなものも、補助事業の対象となる。	◇中丹環境ネットワークには、プラント設計事業者も登録されており、企業間連携で有効な情報のやりとりを期待したい。 ◇設備導入にあたっては、3Rセンターの補助事業が活用できる。	京都府産業廃棄物3R支援センター補助事業 平成26年度補助事業採択実績一覧 <a href="http://www.kyoto-3rbiz.org/filename28.html">http://www.kyoto-3rbiz.org/filename28.html</a> エコアクション21環境活動レポート(株式会社京都庵) <a href="http://www.ea21.jp/list/pdfn/0002533.pdf">http://www.ea21.jp/list/pdfn/0002533.pdf</a>